

“バス駆除対策「実験」実施”

外来魚駆除対策『現地研修会』を行います

～5月26日（月）、阿武隈川 大正橋付近～

阿武隈川では、外来魚問題に対応するため、国土交通省、福島県、阿武隈川漁業協同組合により、ブラックバス等の外来魚の生息状況等の情報交換、一般住民及び河川利用者に「外来魚が及ぼす影響」「その対策の必要性等」に理解と協力を得るための活動の実施等を目的として、「外来魚対応連絡会」を設置し、運営しています。

この外来魚対応連絡会では、福島県内水面水産試験場による「河川版外来魚駆除マニュアル」の作成を受け、対応連絡会の活動の一環として、駆除対策と現地での対策説明（駆除の実験）を行う研修会を実施します。

記

日 時 : 平成20年 5月26日（月）午前10:30～12:00

場 所 : 阿武隈川 大正橋付近（伊達市伏黒：大正橋下流右岸）

内 容 : 外来魚駆除方法の実施研修

対 象 : 外来魚対応連絡会組織機関、関係自治体他

主 催 : 外来魚対応連絡会（※）
（国土交通省、福島県、阿武隈川漁業協同組合）

（発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者会）

お問い合わせ先

《 外 来 魚 対 応 連 絡 会 代 表（事務局） 》
国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
副所長（河川） 佐々木 秀明（内線204）
調査第一課長 二瓶 昭弘（内線351）
福島市黒岩字榎平36 TEL024-546-4331（代表）
FAX024-539-5381

※外来魚対応連絡会とは、ブラックバス類の外来魚が及ぼす影響やその対策の必要性に対し一般住民や遊漁者等河川利用者の理解と協力を得るための活動を行うとともに、外来魚への対処方針等について検討を行うため、国土交通省福島河川国道事務所・三春ダム管理所・摺上川ダム管理所、福島県、阿武隈川漁業協同組合により設置したものです。

～H20年度外来魚対応連絡会の「研修会」～

「外来魚駆除対策研修会」の実施計画書

1. 目的

阿武隈川では、外来魚問題に対応するため、国土交通省、福島県、阿武隈川漁業協同組合により、ブラックバス等の外来魚の生息状況等の情報交換、一般住民及び河川利用者に「外来魚が及ぼす影響」「その対策の必要性等」に理解と協力を得るための活動の実施等を目的として、「外来魚対応連絡会」を設置し、運営を図っているところです。

この外来魚対応連絡会では、福島県内水面水産試験場による「河川版外来魚駆除マニュアル」の作成を受け、対応連絡会の活動の一環として、駆除対策と現地での対策説明（駆除の実験）を行う研修会を実施するものです。

2. 実施概要

- ①日時： 平成20年 5月26日（月） 10：30～12：00
- ②場所： 大正橋付近（大正橋下流右岸のワンド部）
- ③内容： 外来魚駆除方法の実施研修
- ④対象： 対応連絡会組織機関、関係自治体他

3. 主催

- 『外来魚対応連絡会』（国土交通省、福島県、阿武隈川漁業協同組合）

〈 機 関 〉		〈 立 場 〉	
・ 国土交通省	福島河川国道事務所		直轄河川管理者
・ "	摺上川ダム管理所		直轄ダム管理者
・ "	三春ダム管理所		直轄ダム管理者
・ 福島県	生活環境部 自然保護課		県環境部局
・ "	農林水産部 水産課		県水産部局
・ "	農林水産部 農村振興課		県農政部局
・ "	土木部 河川計画課		県河川部局（管理者）
・ "	内水面水産試験場		県水産部局（研究機関）
・ 阿武隈川漁業協同組合			水産資源保護団体

4. 実施スケジュール

●日時： 平成20年 5月26日（月） 10:30～12:00

●場所： 大正橋付近（大正橋右岸上流のワンド部）

①	10:00	事務局集合 →福島河川国道事務所、福島県内水面水産試験場
②	10:05～10:30	実演準備 →福島河川国道事務所、福島県内水面水産試験場 《司会：二瓶調査第一課長（福島河川国道）》
③	10:30～10:35	研修会の趣旨説明 →佐々木副所長（福島河川国道）
④	10:35～10:40	駆除対策の説明 →佐久間主任研究員（内水面水産試験場） ・ 駆除マニュアルの説明 ・ 本日の駆除対策実演の説明 《10:40～10:45 実演場所へ移動》
⑤	10:45～11:55	駆除対策の実演 →佐久間主任研究員、他職員 ・ 繁殖抑制の対策 ・ 捕獲外来魚の確認（体長測定等）
⑥	12:00	閉会・解散

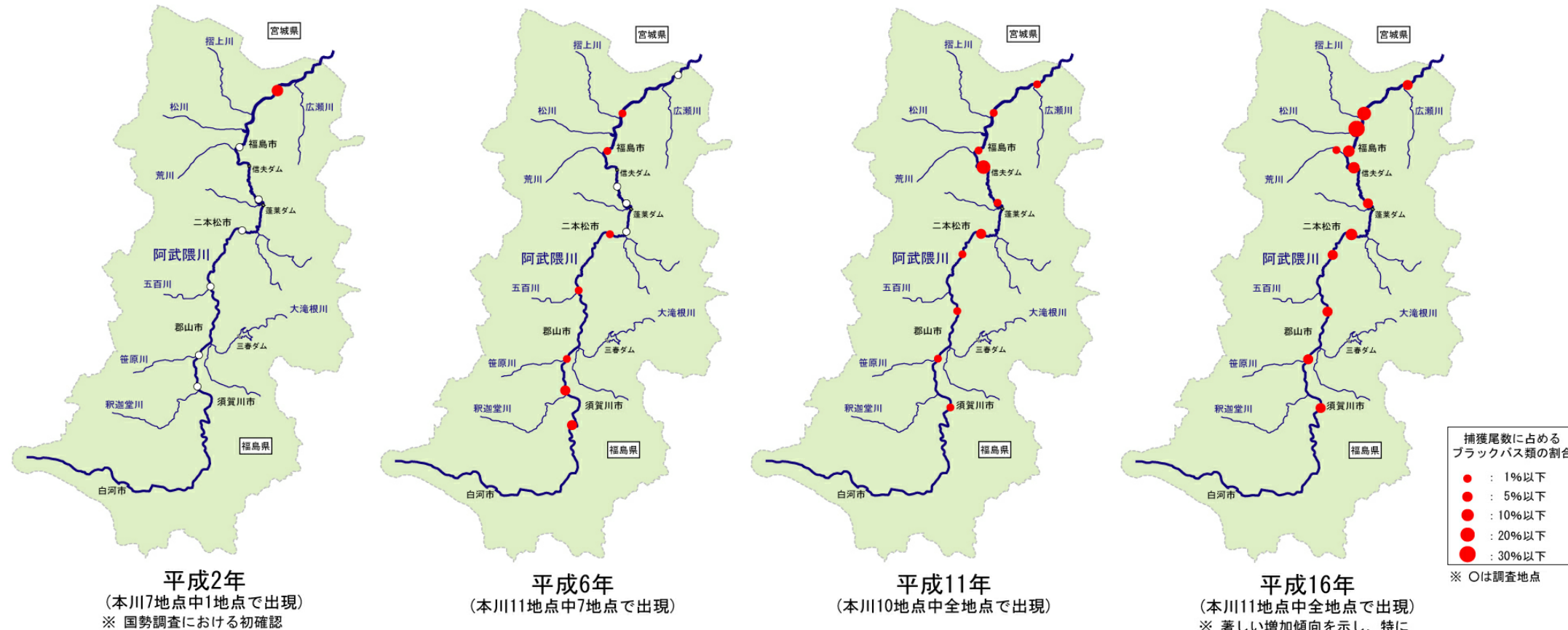
5. その他

- ・車でお越しの方は、大正橋下流右岸の堤防天端道路から進入し、高水敷の管理用道路上に駐車してください。
- ・「駆除対策の実演箇所」は、右岸沿いのテトラまわりですので、参加者には最低長靴、できれば胴長（ウエダー）の準備をお願いします。なお、ご希望の方には胴長（ウエダー）をこちらで準備しますので、参加申し込みの際に「胴長（ウエダー）の足のサイズと数をお知らせください。
- ・また、当日午後は、鎌田大橋周辺の産卵床調査を実施したいと考えています。興味と時間がある方は同行可能です。（13～15時の予定です。）

阿武隈川でブラックバス類^{注)}が増加しています!!

○ 国土交通省 福島河川国道事務所が行った「河川水辺の国勢調査」の結果、平成2年の初確認以降、急速に分布域を拡大し、生息数も増加していることがわかりました。

注) ブラックバス類(オオクチバス・コクチバス・ブルーギル)は、特定外来生物被害防止法によって、特定外来生物に指定されており、在来生態系の破壊や水産資源への影響が懸念される生物です。



オオクチバス *Micropterus salmoides*
止水域を好む。主に全国の湖沼やダム湖から確認が報告されており、近年は河川でも増加している。



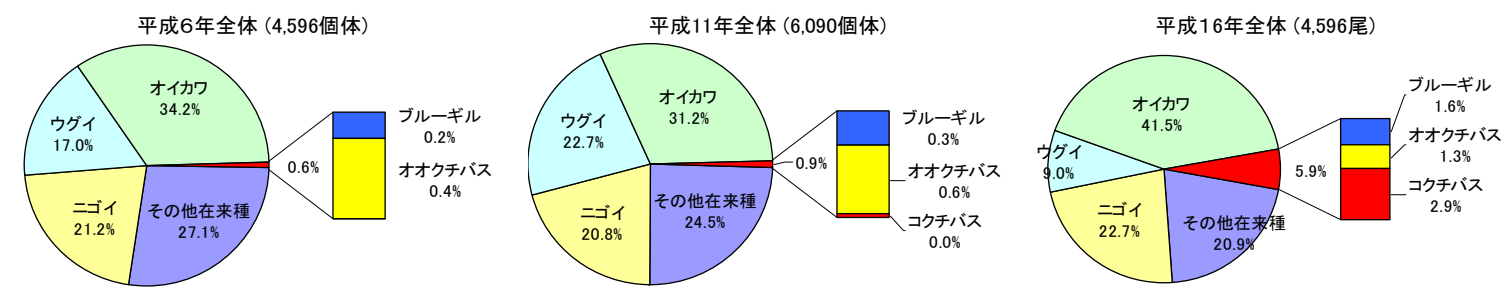
コクチバス *Micropterus dolomieu*
オオクチバスよりも水温の低いところを好み、流れのあるところにも生息する。近年急速に河川への分布を広げており、既に阿賀野川水系、利根川水系でも報告(国勢調査)されている。



ブルーギル *Lepomis macrochirus*
湖沼や河川の岸際の流れの緩やかな水草帯を好む。主に全国の湖沼やため池などから報告されている。

●ブラックバス類は、平成2年に伊達崎付近で始めて確認(国勢調査)されて以降、5年間でほぼ全域に出現し、その後も増加を続けています。

●特に平成11年から16年にかけては、コクチバスが著しい増加傾向を示しており、在来魚への影響が懸念されます。



○ 福島河川国道事務所では、これらの調査結果を重く受け止め、平成17年度から「外来魚生息実態調査」を実施しています。

- ・その結果、成魚だけでなく、幼稚魚も多く確認され、阿武隈川の各所に定着し、再生産を行っていることが把握されました。
- ・生まれた幼稚魚は初夏から盛夏期にかけて河川内に広く分散し、流れの強いところまで勢力を拡大します。
- ・特に確認個体数が多かった福島市周辺は、天然アユが遡上・摂餌をする範囲とも重複することから、アユ資源や遊漁への影響も懸念されます。



捕獲されたブラックバス類:成魚から幼稚魚までが出現する



コクチバスの消化管から出てきたアユ